

<必要設置スペース、インターネット接続条件の確認>

***アルコール検知器ALC-PRO IIを用いる場合には下記の設置スペースが必要になります。**

| | | |
|---------|--|--|
| 設置環境① | □ロボケビーの寸法等 | <p>□ロボケビー（Kebbi AIR）設置のために下記スペースが必要です</p> <p>正面カメラにて顔認証を行うため、逆光にならない位置へ設置ください。 ジェスチャー設定有効時はケビーが90~180度動くため落下防止のため平面でこれ以上のスペースを確保ください。(動かない設定も可)</p> |
| | □ALC-PRO IIとIC免許リーダー(ALC-REC連動版)設置位置関係 | <p>□パソコン本体とPRO IIや免許証リーダー設置場所の距離は1m以内 ケーブル延長は通信信号の減退・消費電力不足等により正常動作保証ができません。 (※延長時、特にカメラが急に映らなくなる、免許リーダーが反応しなくなる等の障害発生率が高くなります。)</p> |
| | □ALC-PRO IIの寸法等 | <p>□検知器設置のために下記スペースが必要です</p> <p>USBカメラにて測定写真撮影を行うため、逆光にならない位置へ設置ください。 ※配線等の都合上、余裕を持った設置スペースの確保をお願いします。</p> |
| 設置環境② | □血圧計の寸法パソコンからの設置位置関係 | <p>□血圧計設置の場合は下記スペースが必要です。</p> <p>パソコン（ALC-Rec）との運動運用時は3m以内の場所へ設置してください。 血圧計は腕を伸ばして計測するため設置スペースには本体寸法以上に奥行が必要となります。</p> |
| LAN接続条件 | □e点呼PRO接続環境 | <p>インターネット有線接続推奨。※無線だと接続不安定で映像や音声が途切れる懸念があります。</p> <p>Wi-Fi接続（無線接続：5GHz帯推奨）のみに対応しております。ご注意ください。</p> <p>※2.4GHz帯はさまざまな機器が使用する電波帯であり、電波帯混線による接続障害の懸念があります。 ※5GHz帯でも接続が安定しない場合は、接続しているルーターの設定にて2.4GHz帯を無効化頂くことで電波干渉がなくなり、Bluetooth接続機器全般の通信品質の改善が見込める場合があります。ただし5GHz帯は障害物に弱く通信距離が短いため、ルーターから離れると通信が不安定になります。 ※6GHz帯には接続できません。</p> <p>ロボケビーと通信接続するWi-Fiルーター（アクセスポイント）のバンドステアリング機能、MLO機能はオフ（無効）にしてください。</p> <p>※有効の場合、推奨の5GHz帯以外の通信帯域に自動で切替となりBluetooth機器の通信が不安定しない懸念があります。</p> <p>802.1X EAP (WPA2-EAP) 等の証明書を使ったWi-Fi接続環境では動作しません。</p> |
| | □e点呼セルフtypeロボケビー接続環境 | |

「Wi-Fi」は「Wi-Fi Alliance」の商標又は登録商標です。

ロボケビー本体を5GHz帯に接続してもALC-Mobile II・III、他機器のBluetooth接続が安定しない場合

下記のいずれかを実施いただくと改善が見込める可能性がございます。

対策は後半ほど制約や準備が大がかりとなりますので効果が期待できます。無線通信につき
さまざまな環境要因が想定されますが、まずは対策①より順次ご確認、試行を推奨しております。

| | |
|--|--|
| 対策① <p>接続しているWi-fiルーター（アクセスポイント）の設定にて「バンドステアリング機能」「MLO機能」を無効化する設定があれば実施します。</p> <p>これらの機能が有効の場合、意図せずロボケビーの接続が2.4GHz帯等の別周波数へ自動で切り替わてしまい、Mobile III等のBluetooth接続へ電波干渉により接続が上手くいかなくなる懸念があります。</p> <p>※「MLO機能」の設定が存在しない場合でも、「バンドステアリング機能」を無効化できれば効果が期待できます。</p> <p>※上記の設定方法につきましてはルーター、アクセスポイント機種毎に異なりますので各機器取扱説明書等をご参照ください。</p> | <p>【ネットワーク構成図例】</p> <p>ロボケビー本体</p> |
| 対策② <p>接続しているWi-fiルーター（アクセスポイント）にて「バンドステアリング機能」「MLO機能」を無効化できない場合、2.4GHz帯の停止設定を実施して5GHz帯のみが飛んでいる状態にします。</p> <p>この設定を実施すると、2.4GHz帯には接続ができなくなるため自動点呼と関係ない他の通信機器も5GHz帯へ接続する必要があります。</p> <p>※上記の設定方法につきましてはルーター、アクセスポイント機種毎に異なりますので各機器取扱説明書等をご参照ください。</p> | <p>【ネットワーク構成図例】</p> <p>ロボケビー本体</p> |
| 対策③ <p>上記の対策①②どちらも厳しい場合は、ロボケビー専用のWi-fi接続アクセスポイントをご準備いただき、2.4GHz帯の停止設定を実施して5GHz帯のみが飛んでいる状態にします。</p> <p>※ロボケビー以外の通信機器は上記アクセスポイントには接続しないようにして専用とすると、より安定が見込めます。</p> | <p>【ネットワーク構成図例】</p> <p>KebbiAir専用のアクセスポイントを設置</p> <p>ロボケビー本体</p> |

※ロボケビーは6GHz帯には接続できません。
※5GHz帯は障害物に弱く通信距離が短いため、ルーターから離れると通信が不安定になります。
「Wi-Fi」は「Wi-Fi Alliance」の商標又は登録商標です。